

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	鳥取県立中部療育園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年1月21日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携でそれぞれの専門性を活かし、子どもの理解、特性に応じた専門性のある支援を提供している。	お子様のニーズに合わせてクラス編成を行い、機能訓練士の担当曜日を決めている。活動の前後でミーティングを行い、支援内容の細かな共有を多職種で行っている。	日常的なミーティングやカンファレンスを通じた情報共有をベースにそれぞれの専門性の理解を園内研修等で深め、支援が途切れない体制についても検討協議をしていく。
2	生活空間を構造化し子どもにわかりやすい環境調整をしている。	ハード面での対応が難しい場合は、ソフト面(人的環境も含む)で構造化を図れるよう工夫している。子どもの発達、ニーズを踏まえ環境を調整している。	玩具の充実、個別ブースの確保をしながら、利用者ニーズに沿った環境調整を行う。一人ひとりに合わせた構造化を随時検討する。
3	意見交換会やアンケートを実施し、利用者保護者の意向を把握する機会を設けている。	年2回、保護者と第三者委員を交えた意見交換会を実施している。日常的にも活動の中で保護者同士の情報交換ができる時間を組み込んでいる。	意見交換会を継続し、意向を精査しながら活動内容の充実と質の向上を検討協議していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所主催での行事(きょうだいむけのイベント開催を含む)等、地域住民を招待する等、行事をとおした地域交流が取り組めていない。	利用者の障がい特性に配慮し安心できる環境調整を提供していくために地域住民の招待目的の行事は企画していない。保護者同士の交流は活動内で取り組むように工夫している。きょうだい向けのイベントのニーズはあるが、上記の環境調整から開催は難しい。	環境調整や個人情報の管理から実施の難しさはあるが、子どもの支援に関わる事業所、学校、保育園職員の来園、地域の学校生徒の実習やボランティアなど受け入れを継続していく。子どもの支援についての研修や啓発目的の地域療育セミナーをとおして幅広く地域に向けて働きかけていく。
2	非常時等の対応についての利用者への情報提供不足。	緊急時対応についての情報提供はHPや掲示物で行っているが利用者それぞれに説明する等の詳細な情報提供は不足している。	それぞれの緊急時対応についての強化月間等設け、避難訓練を通して、利用者の皆様に情報提供できるようにしていく。
3			